

# ものがたり観光行動学会第2回年次大会

主催：ものがたり観光行動学会

大会研究領域統括：関西学院大学教授・加藤 晃 規

大会運営領域統括：大阪千代田短期大学特任准教授・李 有 師



2012年

# 10月13日 土

参加申し込み <http://anata.org>の「参加申し込み」に沿ってお願いします。

参加費 学会員 1,500円 (いずれも当日現金徴収)  
一般 3,000円 / 学割2,000円・学生証提示要

共催・会場 應典院 大阪市天王寺区下寺町1-1-27  
地下鉄・谷町線「谷町九丁目駅」徒歩7分

- 予 定
- 9:50 司会者口上
  - 9:55 應典院代表ご挨拶 秋田 光彦さん
  - 10:00 会長・開催宣言 白幡 洋三郎 (学会長・国際日本文化研究センター教授)
  - 10:20 基調講演 「社会と宗教の位置関係……そして観光」  
釈 徹宗さん (宗教学者・相愛大学人文学部教授)
  - 11:30 総会 (会員だけの時間)
  - 12:00 昼食・各自会場周辺で
  - 12:50 研究発表 (発表20分+質疑5分=25分×4本)

休憩 15分

- 14:45 シンポジウム「ナラティブと宗教・観光のヒカリ」  
登壇者/ 釈 徹宗さん 江 弘毅さん ハンジリョウさん  
加藤 晃規 (学会副会長・関西学院大学総合政策学部教授)  
コーディネータ/ 高田 公理 (学会副会長・佛教大学社会学部教授)

- 16:45 司会者からのエンディング  
司会者/ 奥野 卓司 (関西学院大学大学図書館長・社会学部教授)
- 17:00 終了予定

休憩 20分

- 17:20 アフターパーティー・應典院特設会場 19:15頃迄 (参加費4,000円)

## ゲスト紹介

### 釈 徹宗さん

1961年、大阪府生まれ。浄土真宗本願寺派・如来寺住職。相愛大学人文学部教授、日本仏教学会理事。博士(学術)。龍谷大学大学院、大阪府立大学大学院博士課程を修了後、池田市の如来寺住職に。認知症高齢者のためにグループホームを運営するなど活動は多彩。NPO法人リライフ代表。主な著書に『不斎斎ハビアン』(新潮選書)、『法然親鸞一巡』(新潮新書)、『現代人の祈り』(内田樹氏、名越康文氏との共著、サンガ)、『仏教シネマ』(秋田光彦氏との共著、サンガ)など多数。

### 江 弘毅さん

だんじり祭で育ち「宗教はお祭りだ」が身体化。岸和田高から対岸の神戸大農学部を満身に卒業。京阪神エルマガジン社で1989年「ミーツ・リージョナル」立ち上げ(1993~2005編集長)。「西の旅」編集長、取締役編集本部長歴任。内田樹、永江朗、鷲田清一、富岡多恵子、中場利一、大月隆寛らの編集担当で繊細な剛腕発揮。情報・タウン誌に文芸誌の血潮を注入。2006年春、血潮が高じ退社。仲間とともに編集集団140Bを大阪・中之島に設立。著書に、『街場の大阪論』(新潮文庫)、『岸和田だんじり祭だんじり若頭日記』(晶文社)など多数。

### ハンジリョウさん

女子漫画家。文化住宅のピカピカの青い屋根がカルチャーだった寝屋川・香里園生まれ。その後、福井・武生で育つ。10代の最後、福井で硬派の学びを5年。卒業後、硬派から軟派に転身、大阪天六に住み宝石鑑定の道を目指す。この間に一子を授かり、縁あって京都の地に住み老舗旅館でコンシェルジュ5年。築70年の町家暮らしにも馴染み、いまは京扇子の老舗で働きつつ女子漫画家としての大成をささやかに願っている。「宗教と観光」……その心は「行きつけの寺」を「わたし」に与えてくれる街かどうか、その一点につける……そのように思ってます。

宗教に響かざる観光? 観光に響かざる宗教?

大会テーマ

# 宗教と観光



ものがたり観光行動学会 第2回年次大会

## 前夜祭「寺子屋トーク」

死者が大阪を賦活する時~宗教「観光」都市論

10月12日 金 開場18時半・開演19時

ゲスト講師

# 思想家 内田 樹 氏

主 催 應典院寺町倶楽部  
(要予約、8月末に下記、應典院WEBでご確認ください)  
※定員になり次第、締め切ります。

会 場 應典院 <http://www.outenin.com>

参加費 (いずれも当日現金徴収) 一般 / 1,500円  
應典院寺町倶楽部会員、  
ものがたり観光行動学会・会員 / 1,200円

共 催 ものがたり観光行動学会